

ニューズレター

ネパール出身の留学生チャリセさんに 見舞金を贈呈しました

5月13日、ネパール大地震でご家族が被災した、ネパール出身の留学生チャリセ・プルソッタムさん（国際経営学科3年）に、別府大学外国人留学生後援会より見舞金を贈呈しました。チャリセさんは自宅が被害を受け、ご家族は避難生活を送っています。チャリセさんは「このような支援をしていただき、大変感謝しています。大学での勉強に励むとともに、日本からネパールの復興に取り組みたいと思います。」と、お礼を述べました。



本学では、ネパールの大地震の義援金の受付を引き続き行っています。大学事務局前に募金箱を設置していますので、みなさんの温かいご支援をお願いいたします。[投稿日：2015年5月21日]

「水族館の経営」

を学ぶ授業を実施—国際経営学科「経営学の基礎」第2次オリエンテーション—

5月28日(木)、国際経営学科1年生は「つくみイルカ島」&「うみたまご」のバックヤードツアーを実施しました。午前中、「つくみイルカ島」（大分県津久見市）で施設の歴史や水族館の基礎を学び、イルカと楽しく触れ合いました。午後は「うみたまご」（大分市）に移動した後、大型水槽のバックヤードなど、普段入ることのない舞台裏を見学し、水族館の経営を学ぶ貴重な機会を得ました。



[投稿日：2015年6月1日]

平成27年度

国際経営学科海外研修～台湾研修～

6月10日～13日、国際経営学科2年生47名が台湾研修を実施しました。初日に訪れた景文科技大学では、ジョイント・スタディや士林夜市での交流を通じて、台湾文化への理解を深めました。また、世界的なIT企業であるASUSTeK Computer Inc. や、台湾森永製菓を視察し、グローバル企業の経営やイノベーションの動向を学びました。さらに、公益財団法人交流協会台北事務所を訪問し、日本と台湾の交流状況について、沖縄や静岡など自治体の取り組みをもとに学びました。



[投稿日:2015年6月16日]



国際経営学部のチームが

「大学生観光まちづくりコンテスト」本選出場

国際経営学部の「たびと地域の研究会（たび研）」（顧問：中山昭則教授）は、「第5回大学生観光まちづくりコンテスト～大分ステージ～（観光庁・文部科学省・総務省・経済産業省後援）」に2チームエントリーしました。その結果1チームは上位10チームが出場できる本選に進みました。

本選は9月10日(木)にホルトホール大分で開催され、1年生主体のチームながら立命館アジア太平洋大学、明治大学、お茶の水女子大学などと互角に競い合いました。

発表内容は「セルフイーサー杵築～きものde自撮り作戦～」と題して、若者の間で流行っている“自撮り”を活用して観光誘客を図るというものです。もう1チームも同日開かれたポスターセッションに参加しました。



[投稿日:2015年9月25日]

「ごみ拾い授業」

で身近な環境問題を実感

10月7日、国際経営学科の1年生は、大学周辺でのごみ拾い授業を体験しました。必修授業「観光・地域経営の基礎」の一環で、約90人が出席。11グループに分かれて地域に乗り出し、身近な環境問題、社会問題を「体当たり」で実感しました。約1時間で18袋分のごみを拾い、学生からは「吸殻の多さにびっくりした」「これからは、ごみが落ちていたら拾ってゴミ箱に入れるようにしたい」などの、感想がありました。



[投稿日：2015年10月8日]

「国内旅行業務取扱管理者試験」

に3名合格！

9月6日(日)に実施された「国内旅行業務取扱管理者試験」に、国際経営学科2年生の渡邊郁明さん、胡麻鶴洋人さん、中村健人さんの3名が合格しました。

3名は夏休みを返上して実施される特別授業に参加し、旅行業法や各地の観光資源を学習しました。合格者の渡邊さんは、「勉強していく中で辛い日々も多かったが、合格できて本当に嬉しい。将来、この資格を活かせる仕事に就きたいです。」との感想を寄せて頂きました。皆さん合格おめでとうございます。



右から渡邊さん、胡麻鶴さん、中村さん

[投稿日：2015年11月6日]

【番組放送のお知らせ】

NHK「サイエンス ZERO」

11月15日(日)にNHKで放送される「サイエンス ZERO」に、国際経営学科の阿部博光教授が出演しました。今回の番組のテーマは、「温泉が電気を生み出す！注目の低熱発電」。全国の温泉地で取り組みが始まっている、「バイナリー発電」について紹介します。阿部教授は、自然エネルギーの研究が専門で、温泉を活用した発電の普及について活動を行っており、番組では発電の地産地消の可能性について語ります。

[投稿日：2015年11月10日]